

# 保育施設における ICT 等利活用状況調査結果

R1.10 宮城県

## 1 調査概要

調査対象：宮城県内の保育施設 713 施設（認可保育所，認定こども園，地域型保育事業）

回答件数：312 件

回収率：44%

調査内容

設問 1 保育や運営等における課題

設問 2 保育業務支援を目的とした ICT 等の活用状況（有無・用途・背景・効果）

設問 3 ICT 等の活用に対する関心（期待）

設問 4 ICT 等の活用における課題

## 2 調査結果の概要

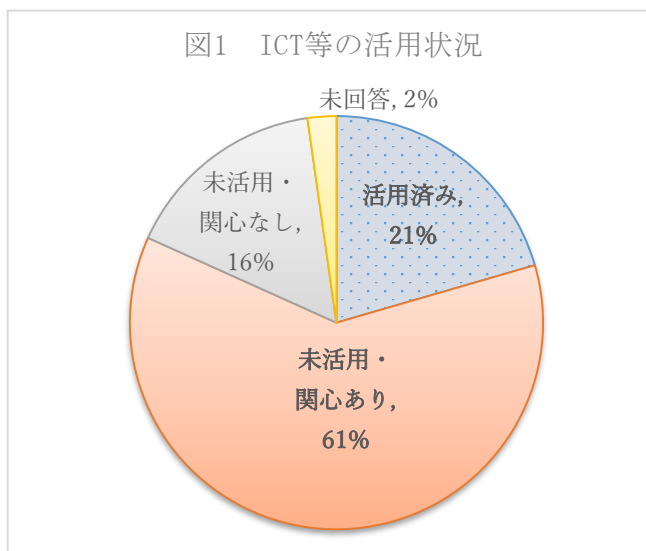
設問 1 保育や運営等における課題【記述回答】

保育士等の**事務負担**を課題と考えている施設が最も多く，次いで，**人材面**（不足・確保・育成）が多くあげられた。その他，休憩時間等の確保やセキュリティ対策，PC 台数の確保などがあげられた。

### 【回答抜粋】

- ・保育士の保育事務の量，所長の職員管理や児童の登降所時間の管理等の事務がとても多く，本来すべきことが十分に行えないと感じているところである。
- ・通常業務をこなすことにそれぞれが精一杯であり，計画的な人材育成に対応出来ていない。
- ・保育の需要が増えてきているが，人材不足と職員の育成が追い付かない。

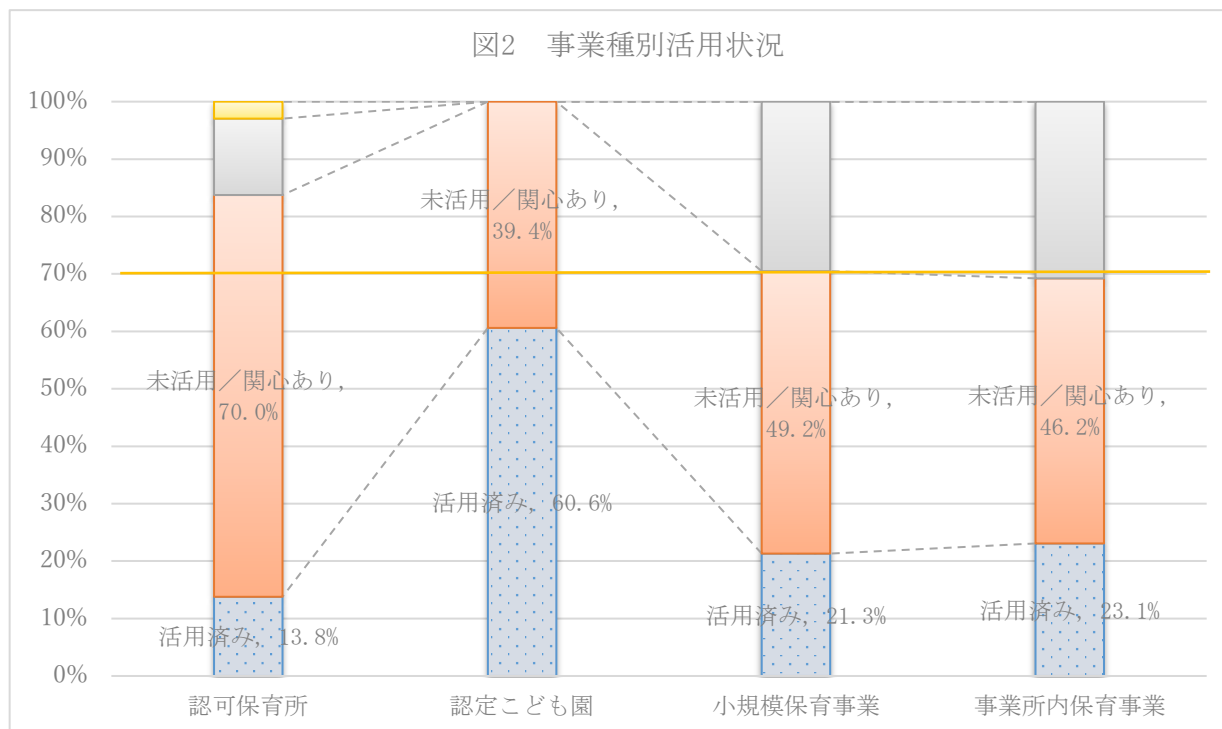
設問 2(1) 保育業務支援を目的とした ICT 等の活用状況【選択回答】 …図 1，図 2



○8割以上の保育施設が ICT 等の活用に関心を持っている。（活用済み+未活用関心有り）

○事業種別に見ると，認定こども園での ICT 等の活用率が 6割以上と特に活用が進んでいる。

図2 事業種別活用状況



## 設問 2(2) 活用している ICT の用途等【記述回答】

## 設問 2(3) ICT 等を活用し始めたきっかけ（背景）【記述回答】

## 設問 2(4) ICT 等を活用したことによる効果【記述回答】

ICT 等を活用している保育施設では、事務の負担軽減を図るために保育事務支援システムを導入している施設が多く、事務負担軽減に一定の効果があったとの回答が多数を占めた。特に、**児童の登降園管理業務において正確性の向上・効率化が図れた**との回答が多くなっている。

（その他の ICT の活用用途や効果については、以下を参照）

## 【回答抜粋】

用途 保育事務支援（各種記録の作成・管理，登降園時間の記録・管理・集計，保育料等の計算・請求，児童情報管理，保護者連絡，写真の販売，職員管理等），午睡見守り支援，栄養管理，ICT 教育，職員間情報連絡 など

効果 ・記録の時間短縮，情報共有ができています。

・登降園時間に基づき延長保育利用料金が自動計算されるので誤りなく請求できる。保護者自身もタッチパネルの入力で時間がわかるので，延長時間を把握することができる。

・アプリを利用して欠席連絡や預かり保育の申込みなどをすることで，電話対応や申込用紙の取り扱いが減り，業務が削減した。

・（システムで）写真販売ができるようになったことで園の様子がよくわかるようになったと保護者からは好評。保護者とのやりとりもアプリを通してできるのでスムーズになった。

・0歳時の担当職員の不安の軽減（午睡見守り支援）

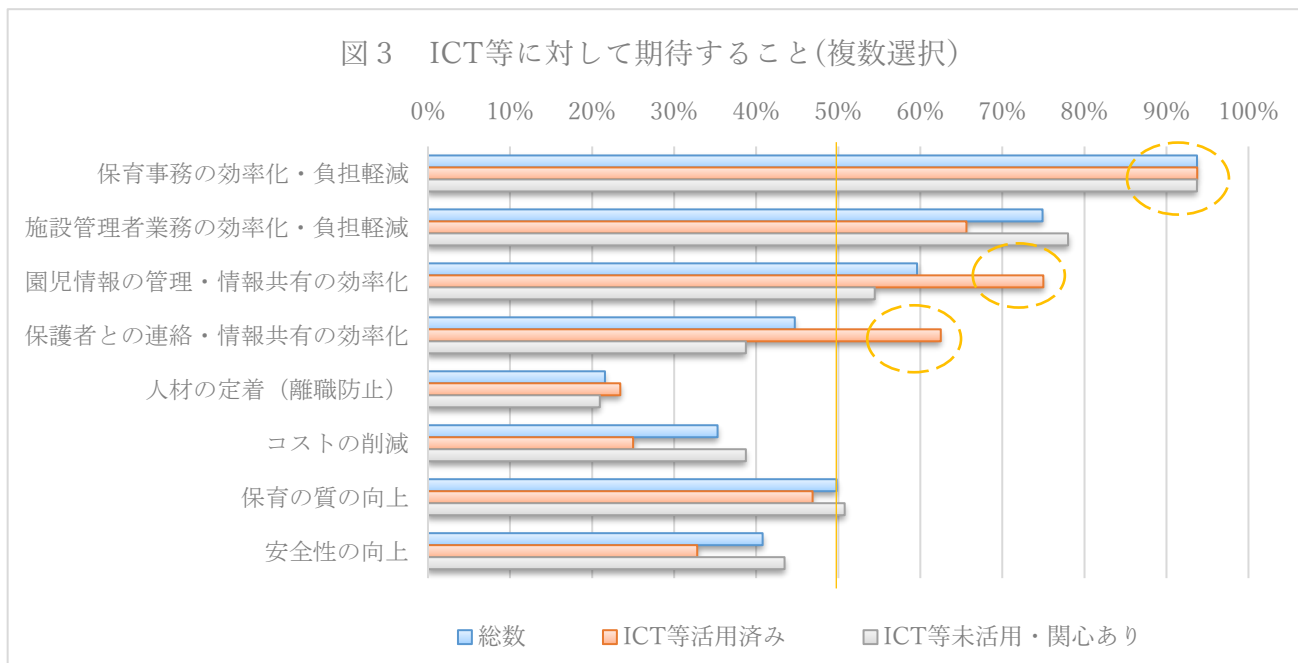
・栄養士の業務短縮につながり，食育など新しい試みを計画・実行することができた。（栄養管理）

・保育者への連絡が行き届いているかどうかを把握できるようになった。（職員間情報連絡）

→（活用のきっかけ）保育者の働き方の多様化のため、全員が集まれなくなったため

設問3 ICT等の活用に対する関心（期待）【選択回答／複数選択】 …図3

（「ICT等活用済み施設」及び「ICT等未活用・関心あり施設」のみ回答）

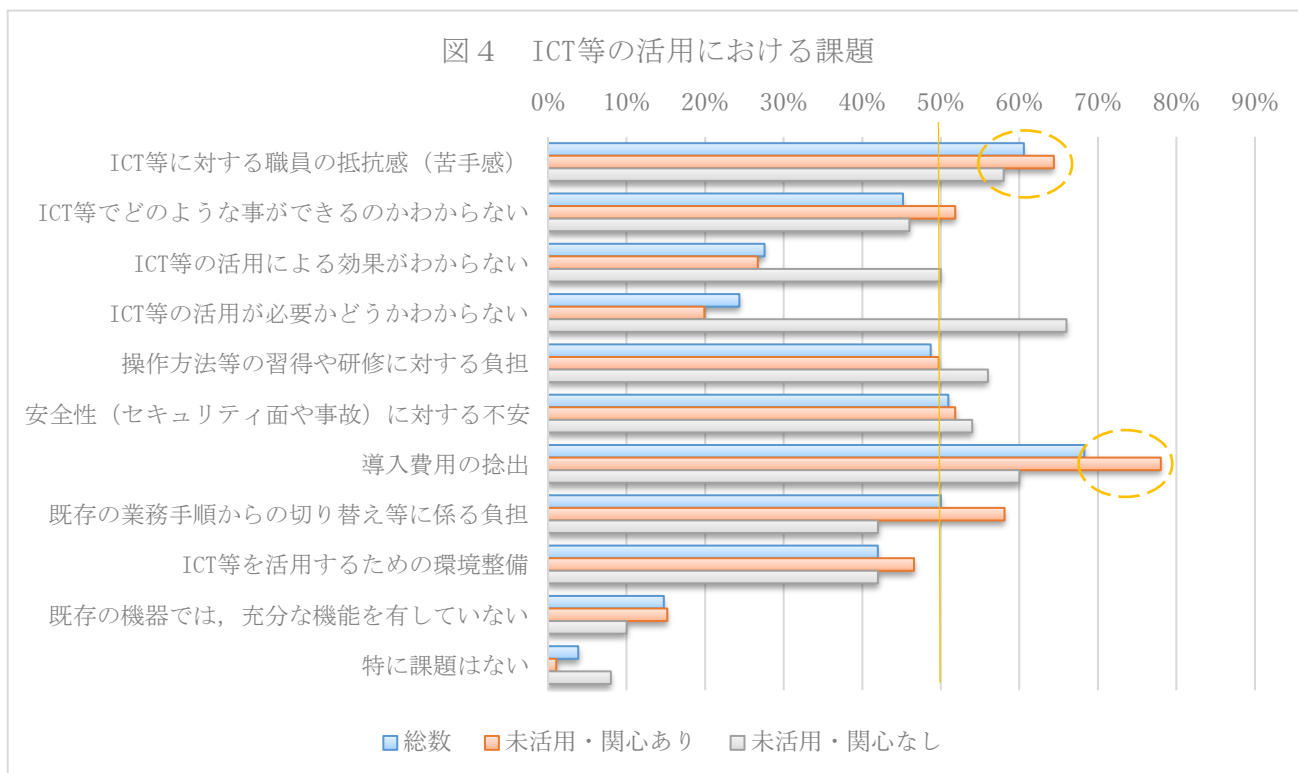


○9割以上の保育施設が「保育事務の効率化・負担軽減」に対して関心（期待）を持っている。

○既に ICT 等を活用している施設では、未活用施設と比べて「園児情報の管理（54%→75%）」や「保護者との連絡（39%→63%）」に対する関心（期待）が高い。

○その他の意見として、「各種データ分析」や「国や自治体のデジタル受け入れ」などが挙げられた。

設問4 ICT等の活用における課題【選択回答】 …図4



- 「職員の抵抗感（苦手感）」や「導入費用の捻出」を ICT 等の活用に関して課題と捉えている施設が多い。
- ICT 等を未活用ながら関心をもっている施設においては、上記の 2 点の他、「既存業務からの切り替えに係る負担」を課題と考えている施設が多い。
- その他の意見として、「機器に頼りすぎになることへの懸念」や「保護者への説明」などが挙げられた。

#### 設問 5 保育業界での ICT 等の利活用に対する意見【記述回答】

##### 【回答抜粋】

- ・保育士の過重労働，保育士不足の現状を改善するためにも必要になってくると思う。
- ・ICT を進める上での懸念とすれば，保育の効率化のみに目が行き進んでいくこと。
- ・ICT 等を活用したいとは思っているが，どれを使ったら良いか分からない。
- ・保育の内容に効率化を求めてもいけないと思います。保育園内で出来る効率化は，書類の作成などの時間や保護者への報告，集金の管理だと思います。そこに ICT を活用したいと思います，全く畑違い作業になるためなかなか進みません。その部分のサポートを受けられると一気に進むように思います。
- ・導入当初は操作などに戸惑うこともあったが，導入から約半年たった今，スムーズに作業することができ，仕事も軽減されていると感じる。
- ・業務簡素化だけがテーマではなく子どもと直で接するスタッフの育成→資質向上を含めた ICT 等活用が望ましいと思います
- ・システム、機器導入そのものは目的ではありませんし、本質でもありません。すべて保育の質をもっとよくしていくためのひとつの手段でしかありませんが、その手段の一つひとつ地道に実施していくことが目的に到達する唯一の方法だと思います。ぜひ、保育現場の環境が少しでも改善され、良質な保育が子どもたち一人ひとりに届くように、行政の出来ることのひとつとして ICT 等の活用がしやすい環境を作っていただければと思います。
- ・幼児教育は非認知能力を育てますが、それは目に見えず、評価できないという人が存在します。体操をさせたり英語をしゃべらせたり、字を書かせることが教育だと勘違いされてしまい、一向に環境を通した教育が広がりません。非認知能力の育ちの見える化とデータに基づくカンファレンスが急務です。そのうえで、保育者の専門性を発揮した人間らしい関わりに基づく援助の中で子どもたちの主体性が育っていくと考えています。保育の評価を、あるスケールを用いて評価することが主流です。しかし、この仙台を発信地として、スケールはもちろん使いつつ、保育者の感覚や主観、子どもの主観やストーリーをベースとしたナラティブベースドアセスメントシステム（NBAS）の開発と一般化のために、異業種の方の力を借りたいと思っています。
- ・ICT 等の利活用は保育業務の効率化となり保育士などの負担軽減になると思うので期待している。しかし、例えば登降園管理などシステムは良くわからないが、もし保護者がチェックし忘れていた場合、日頃の目視を怠っていると非常時に混乱したり見落としがあるのではないかと危惧する。睡眠チェックもしかり。機械やデータは絶対的なものではなく目視や息づかいなど意識しつつ利活用することを IT 社会に生まれ育った若い職員にしっかり意識させる必要があると思う。